

動物用眼科製品一覧

ステロップ[®] 動物用医薬品 STEROP[®]

● 抗炎症ステロイド点眼剤

- イヌの眼科領域の抗炎症剤として、日本で初めてのステロイド性抗炎症点眼剤である。
- 急性結膜炎およびぶどう膜炎などの、各種実験的眼炎症に抗炎症作用が認められている。
- イヌの結膜炎、角膜炎、眼瞼炎に高い臨床効果を示す。
【有効率(有効以上)93.1%(94例/101例)
総症例106例の調査では、副作用は認められなかった。
- イヌのぶどう膜炎に高い臨床効果を示す。
【有効率(有効以上)96.2%(25例/26例)
総症例32例中2例(6.3%)に副作用が認められた。副作用の内容は、点眼時刺激症状1件(3.1%)、眼圧の上昇1件(3.1%)であった。



本剤は1mL中ジフルブレドナート0.5mgを含有する点眼液です。

ティアロース[®] 動物用医薬品 TEAROSE[®]

● 非ステロイド性抗炎症点眼剤

- イヌの結膜炎、角膜炎、眼瞼炎に良好な臨床効果が認められている。
- 実験的眼炎症においてプロスタグランジンの生成を抑制する。(ウサギ)
- アレルギー性結膜炎、急性結膜炎および持続性結膜炎などの各種実験的結膜炎に抗炎症作用が認められている。(ラット、イヌ)
- 角膜創傷治癒の遅延作用は認められていない。(ウサギ)
- 細菌、ヘルペスウイルスによる感染症の増悪や治癒の遅延は認められていない。(マウス、ウサギ)
- 外眼部および前眼部の各組織に良好な移行性が認められている。(ウサギ)
- 承認時及び使用成績調査での総症例921例中9例(0.98%)に副作用が認められた。副作用内容は、点眼による刺激4件(0.43%)、角膜潰瘍2件(0.22%)、びまん性表層角膜炎1件(0.11%)、創傷性角膜炎1件(0.11%)、眼乾燥症候群1件(0.11%)であった(再審査終了時)。



本剤は1mL中ブランプロフェン1mgを含有する点眼液です。

ライトクリーン[®] 動物用医薬品 LIGHT CLEAN[®]

● イヌ老年性初発白内障進行防止剤

- 水晶体の水溶性蛋白の変性等を抑え、水晶体の透明性を維持させることにより白内障の進行を抑制する。(in vitro)
- 実験的白内障モデルに対して、白内障の進行防止効果が認められている。(ウサギ)
- イヌ老年性初発白内障に優れた臨床効果を示す。承認時【有効率(不变以上)89.0%(65例/73例)】使用成績調査(市販後)【有効率(不变以上)87.1%(210例/241例)】
- 承認時及び使用成績調査における総症例429例中5例(1.17%)に副作用が認められた。主な副作用は、結膜充血4件(0.93%)、流涙1件(0.23%)、眼瞼充血1件(0.23%)であった(再審査終了時)。



本剤は1mL中ビレノキシン0.05mg(溶解後)を含有する点眼液です。

ワンクリーン[®] 動物用医薬品 ONE CLEAN[®]

● 動物用点眼・清拭剤

- 1本で点眼と清拭が可能である。
- 粘稠剤として潤い成分である精製ヒアルロン酸ナトリウム及びヒプロメロースを添加した。
- pH及び浸透圧を涙液に近づけた。
- 容量はたっぷりの15mLで、マルチドーズ対応として、二次汚染防止のためクロルヘキシジングルコン酸塩を配合した。



本剤は1mL中ホウ酸20mgを含有する点眼・清拭剤です。

ベトラタブ[®] 動物用医薬品 VETLATAN[®]

● 緑内障・高眼圧症治療剤

要指示医薬品^(注) ベトラタブ[®]
動物用医薬品 VETLATAN[®]

注)注意-獣医師等の処方箋・指示により
使用すること

- 国内唯一の犬用緑内障・高眼圧症点眼剤
- 1日2回点眼で1回点眼よりも安定した眼圧下降効果
- 5mL容量



本剤は1mL中ラタノプロスト50μgを含有する点眼液です。

パピtein[®] 動物用医薬品 PAPITEIN[®]

● イヌ・ネコ角膜障害治療剤

- 抗コラゲナーゼ作用を有するアセチルシスティンの点眼剤である。
- イヌ・ネコの創傷性角膜炎、角膜潰瘍における角膜障害の治療に有効である。(再審査終了)
- 眼粘膜に対する刺激が少ない。



本剤は1mL中アセチルシスティン30mgを含有する点眼液です。

ロメワン[®] 動物用医薬品 LOMEWON[®]

● フルオロキノロン系抗菌剤

指定医薬品
要指示医薬品^(注)
動物用医薬品

注)注意-獣医師等の処方箋・指示により
使用すること

犬

眼科

- イヌの眼科領域感染症治療剤として、日本で唯一のフルオロキノロン系抗菌点眼剤である。
- Staphylococcus intermedius*、*Streptococcus canis*、*Pseudomonas aeruginosa*による眼科感染症に有効である。
- イヌの細菌性の結膜炎、角膜炎、眼瞼炎及び麦粒腫に優れた臨床効果を示す。
【有効率(有効以上)85.8%(91例/106例)】
- 承認時及び使用成績調査での総症例828例中1例(0.12%)に副作用が認められた。副作用内容は、乾燥性角結膜炎1件(0.12%)であった(再審査終了時)。

耳科

- イヌの耳科領域感染症治療剤として、日本で唯一の単剤のフルオロキノロン系抗菌点耳剤である。
- Staphylococcus intermedius*、*Streptococcus canis*、*Pseudomonas aeruginosa*による耳科感染症に有効である。
- イヌの細菌性の外耳炎に優れた臨床効果を示す。
【3~17日間投与での有効率(有効以上)は90.9%(100例/110例)、7日目までの投与での有効率(有効以上)は70.8%(63例/89例)】
- 臨床試験における総症例151例の調査では、8症例(5.30%)に副作用が認められた。その内容は、菌交代症7件(4.64%)、点耳時の刺激1件(0.66%)であった。

馬

眼科

- 日本初の馬用フルオロキノロン系抗菌点眼剤。
- 馬の細菌性結膜炎、角膜炎及び眼瞼炎に対して良好な臨床試験成績。



本剤は1mL中 塩酸ロメフロキサシン3.31mg(ロメフロキサシンとして3mg)を含有する眼科耳科用液です。

※効能・効果、用法・用量、使用上の注意等の詳細については添付文書をご参考ください。

製造
販売元

SENJU

千寿製薬株式会社

大阪市中央区瓦町三丁目1番9号

製品情報お問い合わせ先:カスタマーサポート室

1516AH

販売

DSファーマアニマルヘルス株式会社

大阪市中央区本町2-5-7

2018年8月作成